

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 3 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 (1)	理念の周知、共有はできているが、実践部分となると十分といえない点がある。理念に基づく運営方針をたてているため、全職員が方針の共有、実践を目指す必要がある。	毎年度ごとに理念、運営方針を再認識し、実践していく。	理念、運営方針を再認識する機会として、理念構築や実践に資する研修を事業所内研修計画に盛り込む。年度ごとの運営方針作りに全職員で取り組む。	6ヶ月
2	2 (2)	地域特性、立地的に地域との関わりが少ない。	地域との交流の機会を増やす。	年度行事計画へ地域参加行事、ボランティア派遣計画を盛り込む。また運営推進者会議などの機会を活かし、地域催事などの情報収集を行う。	6～12ヶ月
3	5 (4)	市町村との連携が多いとはいえない。	これまでと同様に相談などの有事には必ず訪問を心がけるとともに、月一度はなんらかの形で訪問し、事業報告、情報集積を図りたい。	担当課には運営推進者会議への参加を引き続きお願いし、情報交換の機会とする。計画的な訪問を心がける。	6～12ヶ月
4	10 (6)	運営に関する利用者、家族等の意見表出の機会として、運営推進者会議を活用しているが、諸事情により家族の参加が少ない。	諸事情により参加できないことはやむを得ないため、運営推進者会議以外の方法で意見を表出してもらう。	外部評価の際のアンケート調査、面会の際の面談、利用者に対する生活への意向調査を継続していく。また、家族参加型の行事を計画的に行い、意見を表出しやすい信頼関係の構築に努める。	6～12ヶ月
5	14	サービスの質の向上に結びつくような、同業者との交流が少ない。業務の都合上、機会の確保も困難な状況である。	可能な限り、同業者間で開催される研修や勉強会に参加する。	研修や勉強会については事業所内外問わず、職員の希望を聴取しながら、積極的な参加を促す。また、参加必須研修などは研修計画を立案し、計画的に参加できるようにする。	6～12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。